

自宅外通学における証明書類（機構様式）

自宅外申請における証明書類の機構様式を3種類を準備しています。

以下の場合に必要な応じて、利用してください。

なお、必ずしも、以下の用紙が必要というわけではありませんが、提出書類に必要な項目を明記しています。

作成にあたっては記入例をご参照ください。

1 給付様式35-①賃貸借契約証明書(個人間)兼居住証明書

【利用時における注意点】

- ・ 親戚宅に居住費を支払って居住している場合に利用します。
- ・ 奨学生本人と生計維持者の別居を証明する場合に利用します。
- ・ 賃貸借契約書の契約期限が切れている場合に、期限を更新した書類として利用します。
- ・ 賃貸借契約書を紛失した場合には、代わりとして利用できます。

2 給付様式35-②支払実績証明書

【利用時における注意点】

- ・ 奨学生本人または生計維持者が、奨学生本人の居住にかかる費用（家賃）を負担していることを証明する際に利用します。
- ・ 賃貸借契約書の期限が切れている場合に、期限を更新した書類として利用します。

3 給付様式35-③入寮(入所)証明書

【利用時における注意点】

- ・ 学校の寮や自立援助ホームに入所している場合に利用します。
- ・ 発行された証明書では、入寮日や寮の住所等が確認できない場合に利用します。

日本学生支援機構提出用

※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学の審査のために使用します。

賃貸借契約証明書（個人間） 兼居住証明書

所在地：

物件名：

契約者：

※ 賃貸借契約書上の借主（持家へ間借をしている等、賃貸借契約書が発行されない場合は家主と契約を行った人物）を記載して下さい。

入居者：

契約期間：

始期：西暦

年

月

日

終期：西暦

年

月

日

賃料：

円／月

特記事項：

※ 生計維持者と奨学生本人の別居を証明するために作成する場合
①いつから、②奨学生本人が生計維持者とは別居であるのかの2点がわかるように特記事項に記載してください。

上記の契約者が私（貸主）と賃貸借契約を締結していること、および
当該物件に入居者が入居していることを証明します。

西暦

年

月

日

貸主：

印

※ 賃貸借契約書上の貸主（持家へ間借をしている等、賃貸借契約書が発行されない場合は家主）が証明して下さい。

住所：

連絡先電話番号：

日本学生支援機構提出用

※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学の審査のために使用します。

オレンジ色の欄については、入力による作成も可能です。

居住証明書
として使用する場合
(賃貸借契約書の添付資料と
して提出する場合)賃貸借契約証明書 (個人間)
兼居住証明書

【記入上の注意】

- ① 賃貸借契約書記載の所在地・物件名を記入してください。
- ② 賃貸借契約書記載の借主(賃借人)氏名を記入してください。
- ③ 賃貸借契約書記載の物件に実際に入居している方の氏名を記入してください。
- ④ 賃貸借契約書記載の契約期間を記入してください。
賃貸借契約書が期限切れのため、期限を更新した証明として使用する場合は、給付始期を含む更新後の契約期間を記入してください。
- ⑤ 賃貸借契約書記載の家賃を記入してください。

① 所在地： 東京都目黒区駒場4-5-29

① 物件名： 駒場マンション3階301号

② 契約者： 育英 太郎

※ 賃貸借契約書上の借主(持家へ間借をしている等、賃貸借契約書が発行されない場合は家主と契約を行った人物)を記載して下さい。

③ 入居者： 育英 友

④ 契約期間： 始期：西暦 2024 年 4 月 1 日
終期：西暦 2026 年 3 月 31 日

⑤ 賃料： 30,000 円/月

⑥ 特記事項： 2024年4月1日より入居者は育英友1名である

⑥ その他記入例
・契約期間始期より上記入居者のみが居住している。

※ 生計維持者と奨学生本人の別居を証明するために作成する場合

①いつから、②奨学生本人が生計維持者とは別居であるのかの2点がわかるように特記事項に記載してください。

上記の契約者が私(貸主)と賃貸借契約を締結していること、および
当該物件に入居者が入居していることを証明します。

西暦 2024 年 4 月 5 日

⑦ 賃貸借契約書に記載されている貸主、管理会社又は仲介業者が証明してください。

⑦ 貸主： 株式会社 支援機構不動産
代表取締役 奨学 一郎

印

※ 賃貸借契約書上の貸主(持家へ間借をしている等、賃貸借契約書が発行されない場合は家主)が証明して下さい。

住所： 東京都江東区青海2-2-1

連絡先電話番号： 03-2222-2222

日本学生支援機構提出用

※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学の審査のために使用します。

オレンジ色の欄については、入力による作成も可能です。

個人間契約書
として使用する場合
(持家へ間借する場合)賃貸借契約証明書（個人間）
兼居住証明書

① 所在地： 東京都目黒区駒場4-5-29

① 物件名： 駒場マンション3階301号

② 契約者： 育英 花子

※ 賃貸借契約書上の借主（持家へ間借をしている等、賃貸借契約書が発行されない場合は家主と契約を行った人物）を記載して下さい。

③ 入居者： 育英 友

④ 契約期間： 始期：西暦 2024 年 4 月 1 日
終期：西暦 2026 年 3 月 31 日

⑤ 賃料： 30,000 円／月

特記事項：

※ 生計維持者と奨学生本人の別居を証明するために作成する場合
①いつから、②奨学生本人が生計維持者とは別居であるのかの2点がわかるように特記事項に記載してください。上記の契約者が私（貸主）と賃貸借契約を締結していること、および
当該物件に入居者が入居していることを証明します。

西暦 2024 年 4 月 5 日

⑥ 持家へ間借をしているため、賃貸借契約書
が発行されない場合は家主が証明欄を記入し
てください。

⑥ 貸主： 奨学 太郎

印

※ 賃貸借契約書上の貸主（持家へ間借をしている等、賃貸借契約書が発行されない場合は家主）が証明して下さい。

住所： 東京都江東区青海2-2-1

連絡先電話番号： 03-2222-2222